

おうちで本を その5 開いていますか？



今、絵本や小説がどんどん映画化されています。言わずと知れたハリーポッターやジブリの作品の色々。見てから読むか、読んでから見るかは人それぞれですが、先に原作を読んだ人は、演じる俳優や声優のイメージが合わないと感じることもあるでしょう。でも、映画は原作を短く縮めてあることが多いので、読んでから見るとストーリーがつかみやすいこともあります。また、逆に映像でイメージを作ってから原作を読むと、登場人物が生き生きと想像できるでしょう。どちらにしても、原作本の中には映画の何倍も味わい深いものが詰まっています。

さあ、見てから読むか、読んでから見るか!? チャレンジしよう！

絵本



題名/かいじゅうたちのいるところ
作・絵/モーリス・センダック
訳/じんぐうてるお
出版/富山房

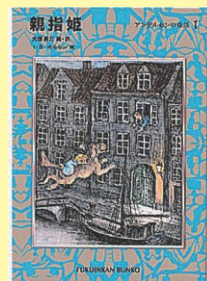
絵本の中のかいじゅうがそのまま抜け出して、スクリーンで動きます。細部はじっくりと絵本で楽しんでね。



題名/おまえうまそうだな
作・絵/宮西達也
出版/ポプラ社

あのウマソウが映画に！ 原作とは少しちがう!?かわいい恐竜になっています。シリーズ最新刊も出て、ますます楽しみです。

小学校低学年向け



題名/アンデルセンの童話
出版/福音館書店
作/アンデルセン
編・訳/大塚勇三ほか
画/イブ・スバング・オルセンほか

人魚姫ほか、みんなも知ってるお話がいっぱい。さまざまな映像作品のもとになっています。



題名/ルドルフとイッパイアッテナ
作/斎藤洋
絵/杉浦範茂
出版/講談社

NHK 教育テレビでアニメ化されています。独特の語り方が耳に心地よいですが、ぜひ原作もどうぞ！

※橋本市家庭教育支援チームでは、「家庭読書班」を編成しており、「家読」に関する講座を展開しています。お問い合わせは、教育委員会 家庭教育支援室まで (TEL 33-1111 内1381)

小学校高学年向け



題名/バッテリー
文/あさのあつこ
絵/佐藤真紀子
出版/教育画劇

映画、テレビなど数々映像化されました。本では映像では描ききれない心のゆれを感じ取ってね。



題名/チョコレート工場の秘密
作/ロアルド・ダール
絵/クエンティン・ブレイク
訳/柳瀬尚紀
出版/評論社

映画「チャーリーとチョコレート工場」の原作です。奇想天外なストーリー、ブラックユーモア。言葉遊びの妙味は本を読んで楽しんで。ロアルド・ダール全集で出ています。

ヤングアダルト向け



題名/獣の奏者
作/上橋菜穂子
出版/講談社

本を読むだけでは出てくる動物がイメージしづらいかも。原作は5冊に及ぶ壮大なお話です。大人も一緒に楽しんでね。



題名/カラフル
作/森絵都
出版/理論社

原作とのイメージの違いが出るかも。どちらが気に入るかは、両方楽しんでから。

子育て はっぴい あとばいす

子育てで大切にしたい心得として次のような言葉があるのをご存じですか？

子育て四訓

乳児は、しっかり抱いて肌を離さず。
幼児は、肌を離して手を離さず。
少年は、手を離して目を離さず。
青年は、目を離して心を離さず。

青年期を迎えた子どもがいる私にとっては、「なるほどその通り、でもちょっと反省かな」と感じました。

乳児期は、抱きぐせなんてなんのその！ 赤ちゃんはしっかり抱っこすることで、安心しますよね。

幼児期は、子どもの興味も「お外、お外…」。親の手は一気に離すのではなく、子どもが親の手を引っ張っていきこうとする方向についていきましょう。親がそばにいて「心配しなくていいよ」という安心感を与えられます。

少年期は、友達との付き合いが大事になります。ここではしっかりと手を離し、活動範囲を広げてあげましょう。ただ見守ることは忘れないでね。

青年期になると、完全に自立していくため、自分なりの生きがい、進路を歩いていく時期になります。自立したといっても、心はつながっているようにしたいですね。

